

6・7月も役立つ講座がいろいろ！

子育てリフレッシュサロン

◆6月12日(木) 10:00～11:30

場 所: 参画センター学習研修室 3

参加費: 無料

託 児: あり、無料(1週間前までに要予約)



摂食障がい家族の会

◆6月14日(土) 13:30～15:00

場 所: 参画センター相談室

参加費: 無料



シングルマザーの会

◆6月22日(日) 13:30～15:00

場 所: 参画センター学習研修室 3

参加費: 無料

託 児: あり、無料(1週間前までに要予約)



男女共同参画のキーワード

【女性支援新法について】

<女性支援新法とは>

困難な問題を抱える女性への支援については、売春防止法(昭和31年制定)に基づき、保護更生等を目的として、補導処分や相談対応等が行われてきました。

一方で、近年の女性をめぐる課題は、被虐待経験や障害による生きづらさ、性暴力被害や生活困窮など複雑化・多様化・複合化しており、このような多様な問題を抱える女性に対する「支援」を中心に据えた新しい法律の必要性が指摘されるようになり、「女性の福祉」や「人権の尊重・擁護」を目的に、女性が安心して、自立して暮らせる社会の実現を目指して、令和4年5月に女性支援新法が制定されました。(令和6年4月1日施行)

<女性支援の流れ>

女性が抱える様々な困難に関する相談については、各都道府県の女性相談支援センターや、市町村の女性相談支援員等が受け付けています。相談に際して、一人ひとりにアセスメントを行い、それぞれの課題やニーズに応じて、一時保護を行ったり、様々な福祉サービス等につなげ、中長期的な支援が必要な方については女性自立支援施設等への入所についてもご案内しています。

<民間団体との協働による支援>

そういった女性を支援するために、民間団体との協働はとても重要です。特に若年女性については、被虐待経験

第1回シニア世代のくらし安心講座

「あたためて守ろう、わたしのカラダ。今日からできるちょい漏れ予防」

◆7月24日(木) 10:00～12:00

講 師: 清水加代さん(助産師ケアマネ)

参加費: 無料

定 員: 20人程度

託 児: あり・無料(1週間前までに要予約)



第2回こころとからだの健康講座

「命かがやいて～みんなで学ぼう性教育①～」

◆7月25日(金) 10:00～11:30

講 師: 高橋美佐子さん(助産師)

参加費: 無料

定 員: 20人程度

対 象: 幼児(4歳以上)および小学生の親、保護者

託 児: あり・無料(1週間前までに要予約)



知ってる?



や家庭での居場所がない背景に、性暴力被害や悪質ホストからの被害の事例が後を絶ちません。

女性支援の民間団体では、繁華街の夜間の見回りや声掛け、SNS を用いた相談対応や居場所の提供など、様々な活動を行っています。このような民間団体の活動を支援する事業を実施する自治体や民間団体の数は、女性支援新法の施行を機に大きく増加しました。今後更なる実施自治体数・団体数の拡大が期待されています。



(資料: 内閣府 男女共同参画局「共同参画5月号」)

5月の行事から

5/15

第2回香川はじめて講座 ― 瀬戸内国際芸術祭にいこう!(瀬戸大橋エリア)

場所: 瀬戸大橋エリア 参加人数: 19人

今回は、瀬戸芸の「瀬戸大橋エリア」に行きました。バスの一乗車券を購入して、沙弥島と瀬居島の二つの島に行きました。元々は島だったが、二島とも今は陸続きになっています。沙弥島は東山魁夷せとうち美術館やターニャ・プレミンガーの作品を見学しました。瀬居島は、今学校は無く、閉校した幼稚園、小学校、中学校が芸術祭の拠点になっています。お天気が良かったので、島の稲荷神社からの瀬戸内海も風景が素晴らしかったです。作品群がいろいろなメッセージを訴えかけてくるようで、感慨深かったです。平日ということもあり、観光客がそれほど多くなかったため、バスも満員ですが全員が乗れて良かったです。

(参加者の感想)

「たくさんの作品が見られて、楽しかったです」「芸術祭は瀬戸内海が背景にあるので、より一層素晴らしいと思いました」「参加者の方と仲良くなれて楽しかったです。また参加したいです」「鯛めし美味しかったです」等。



5/15

高松いきいき・まちづくり講座

第2回 人生会議

場所: 学習研修室3 参加者: 8人

講師: 吉田 茉弥(センター職員)

2月に引き続き、人生会議についての講座を行いました。いろいろなところで開催されている終活ではなく、自分の思いや考えを大切な人と話し合うということに重きを置いた、人生会議という内容をお伝えしています。少人数での開催にはなりましたが、子育て世代の参加もあり、参加者同士のグループワーク等ではお互いにたくさんの気づきがある会となりました。(参加者の感想)「とても学びが多く、私生活にも仕事にも響くお話しでした。自分自身のことをしっかり考える機会になりました」

「まずは終活と人生会議の違いを知ることができました。終活だと少し暗く感じてしまいましたが、人生会議だと今を生きている中で自分自身を見つめ直して、自分を知ってもらえることだと思いました。両親だけでなく、自分の事も見つめ直して、子供に知ってもらいたかったです」「自分の家族、夫の家族、どちらにも前向きに、もしこうなったらどうしてもらいたいか話せるきっかけになりました。自分でも、人生会議ノートをこっそり書いてみて、家の棚に置こうかなと思います」



トピックス

男女共同参画週間が始まります!

令和7年度「男女共同参画週間(毎年6/23～6/29)」におけるキャッチフレーズが決定しました。

内閣府では、「『人材の育成・ネットワークの形成』を軸とした取組を進めるためのキャッチフレーズ」を募集し、応募総数4,946点の中から、審査の結果、以下の3作品を選びました。

(募集期間: 令和7年1月10日～2月24日)

【最優秀作品】 誰でも、どこでも、自分らしく 【匿名希望】さん(福岡県)

【優秀作品】 人が育つ、絆が広がる、未来が変わる 阿部 一騎さん(新潟県)

【優秀作品】 育成しよう 貴重な人材 醸成しよう 共同参画 山野 大輔さん(大阪府)

<男女共同参画センターパネル展のご案内>

参画週間の期間中、たかまつミライエ6階の当センターふれあい交流サロンでは、登録団体のパネル展が開催されます。どんな団体がどんな活動をしているのかがよくわかりますので、ぜひご覧になってください。(去年のパネル展写真⇒)

